



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和5年2月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和4年12月26日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

日医認定産業医研修(令和5年2月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
1月16日(月)	10時～	2月27日(月)	14時～16時	職場復帰支援のあり方	専門2
1月18日(水)	10時～	2月15日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～	更新2
1月20日(金)	10時～	2月17日(金)	13時30分～16時30分	作業環境測定方法	実地3

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
2月15日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 1月18日(水) 10時～定員に 達し次第受付終了	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	荒川 輝雄	生涯・更新2	29
2月17日(金) 13:30～16:30 申込受付日時 1月20日(金) 10時～定員に 達し次第受付終了	<p>作業環境測定方法</p> <p>本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。</p>	小嶋 純	生涯・実地3	16
2月27日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 1月16日(月) 10時～定員に 達し次第受付終了	<p>職場復帰支援のあり方</p> <p>職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。</p>	大西 守	生涯・専門2	29

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**1月11日(水)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
2月8日(水) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 実践的職場復帰支援／メンタルヘルスとがん対応について～事例に基づく復職支援のあり様、産業現場のチーム支援について～</p> <p>メンタルヘルス対策の1次予防、2次予防、3次予防の占める割合はいかがでしょうか。現実的には3次予防対策に多くの比重を占めているのではないのでしょうか。ストレスチェック実施後の活用等はどうか。がん等の両立支援の実態はいかがでしょうか。</p> <p>突然のように休職することも多いかもしれません。早期に対応、早めに回復ができれば、それに越したことはないですが、いまだのように向き合って復帰支援をしているか、再発しないセルフケアへ支援、睡眠・生活リズムの構築、当事者と一緒に復帰を考える姿勢、上司等の助っ人の力を借りながら、実践しているそんな事例をお伝えしたいと思います。一緒に考えていきましょう。</p> <p>◆講義の後、チャットにて質問を受け付ける予定です◆</p>	菅野 由喜子	50

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
2月10日(金) 14:00～16:00	<p>「職場における心の健康づくり計画」策定について</p> <p>職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると、強いストレス要因を持つ労働者の割合は、全体の58%にのぼります(平成30年)。この数値からもメンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。</p>	<p>本山社会保険労務士 /行政書士事務所所長 本山 恭子</p>	29
2月20日(月) 14:00～16:00	<p>◆産業看護職限定◆</p> <p>職場での健康支援の進め方と産業看護職のやりがい</p> <p>産業看護職として働き始めたが、何をどのように進めたら良いか、誰に相談したら良いか分からないという質問をいただくことがあります。</p> <p>今回の研修では、事前にいただいた疑問・質問をもとに、産業看護職としてどのように活動を進めていくのか、経験者(講師)からの情報提供とともに、参加者同士が気軽に意見交換を行う機会を設けます。それにより、明日からの仕事をもっと楽しくやりがいを持ってできるようになることを目指します。</p> <p>◆注意◆ この研修に参加できるのは、「産業看護職(保健師・看護師)」のみです。</p> <p>◆お願い◆ 今回の研修は参加者からの「疑問・質問」を基に進めてまいります。産業看護職として日頃感じていらっしゃる「疑問・質問」をお寄せください。参加申込後、当センターから「2月20日研修 疑問・質問依頼」メールをお送りいたしますので、そちらへご入力ください。</p>	錦戸 典子	16
2月22日(水) 14:00～16:00	<p>高齢労働者の安全衛生対策の進め方～身体機能・安全衛生の現状とエイジフレンドリーガイドライン～</p> <p>職場で働く高齢労働者が増加しています。高齢者の労働災害の発生率は若年者よりも高く、休業期間も長くなる傾向があります。高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下が見られ、このことが、高齢者の発生率の高い転倒、墜落・転落災害の発生に影響していると考えられています。</p> <p>また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。</p> <p>厚生労働省は、高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや高齢労働者の健康づくりを推進するため、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しました。</p> <p>このような現状とガイドラインの要点について解説します。</p>	荒川 輝雄	29